

新宮川水系 小又川 洪水浸水想定区域図(浸水継続時間)

新宮川水系 小又川 洪水浸水想定区域図(浸水継続時間)

1. 説明文
- (1) この図は、新宮川水系小又川について、水防法の規定に基づき浸水継続時間を表示した図面です。
 - (2) この浸水継続時間は、指定時点の小又川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により小又川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。
2. 基本事項等
- (1) 作成主体 : 三重県
 - (2) 指定年月日 : 令和4年4月26日
 - (3) 告示番号 : 三重県告示第246号
 - (4) 指定の根拠法令 : 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項
 - (5) 対象となる河川
・新宮川水系小又川
検討対象区間
左岸: 三重県熊野市飛鳥町小又字兼吹から大又川合流点まで
右岸: 三重県熊野市飛鳥町小又字平松から大又川合流点まで
 - (6) 指定の前提となる降雨 : 小又川流域の24時間の総雨量937mm
 - (7) 関係市町 : 熊野市
 - (8) その他計算条件等
 - ①この図は、小又川の三重県管理区間において破堤等が起きた場合の浸水継続時間を図示しています。
 - ②この図は、小又川において、一定の条件で破堤等をさせたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。破堤地点は、三重県管理区間の0.0kmから3.5km地点において想定したものです。
 - ③氾濫計算は、対象区域をおよそ5m格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として計算しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。

